

ニチコン、電源装置納入

4月、理化学研究所 数10PPMという非常な精度で動作するX線管に厳しい仕様。誰れも電子レザラー（XFEL）の技術だ」と、理研のXFELチームリーダーの放光科学総合研究所のXFELチームリーダーのXFEL研究開発の核を担った。また、発光部の田中均部門長は「世界で3本しかないXFELは指摘する。ラインのうち本をSACLAが占めることになったが、それを縁にX線を生み出すアンジの下で支えているのがニチコンの技術だ。」

2012年に運転を始めたSACLA。ニチコンはキックカートンには高精度な電源装置を納入し、電子ビームを加速する工程の電源を開発した。SACLAは物質を構成する最小単位である原子レベルを、1000分の1秒単位の石（キックカートン）で実現。高速領域で観察するために、これを駆動する必要があるが、これを駆動するために、さらに精度を高め、国内の研究に貢献している。今後は産業利用の拡大も期待される。

SACLA下支え



SACLAにはニチコンの電源技術が生かされている

モトづくりの深化を進める

オムロン

オムロンは創業以来の事業であるリレーで、モトづくりの深化を進めている。同社のリレーは、家電から産業機器、通信機器、車載など幅広い分野で使われており、グローバルシェアで約20%に達する業界トップ。は手作業による組み立て電力のオン、オフをつかさどる基幹部品だけに、信頼性への要求は非常に高い。同社では自動機

リレー、業界最薄クラス

新構造を採用することで、幅が約5mm以下の業界最薄クラスと、100mAという業界最小クラスの消費電力を実現した。

既存モデルは海外工場に生産したが、新型リレーでは高い品質と信頼性を確保するため、グループでリレー事業を手がけるオムロンリレーアンドデバイス（熊本県山鹿市）の本社工場で生産する。国内生産の強みを生



かして、これまでアリン 国内の産機市場でシェアトップ基採用スリムタイプで、拡大を狙う。形G6DNも、高い接触信頼性を実証して採用した新構造はクロ 現している。

スバ・ツイ 家電や産業機器の高機能化や多機能化、自動車方式で、の電装化、新興国市場の需要金メッキを、は高まり続けている。加施している、えて新型リレーが狙うFの、特徴A分野では、多点出力への、これにの対応や制御盤の省スペースリング、ス化などで小型、省電力タイプの力化へのニーズが拡大、接点を採用、電動化が進む住宅設備機器での需要も見込まれる。市場の変化に対応するスリムタイプ、顧客と連携した商品開発、新型リレー「形G」や「モトづくりが必要となる6DN」

連携率いる人材育成

京都大学が進める産学共同による人材育成の取り組み。情報学や機械工学、建築や経営、心理学などが蓄積するさまざまな知のネットワークを活用し、街、大学教員、大学院生らもって2014年に発足。京都リサーチパーク（京都市下京区）にデザインインノベーション拠点を設置し、本格活動を始めている。各種デザインセミナーやオープンイノベーション、共同研究などで産学連携による相互学習を通じて、多様な専門性でコラボレーションを先導できる人材の育成が狙いだ。

コンソーシアムにはオムロンやソニー、ダイキン工業など大手企業、京都府・京都市など



過去に行われた京大の「サマーデザインスクール」



サムコ社長 辻理氏

長期的視点で技術開発

「サムコの産学連携に貢献する」という経への取り組みについて、辻社長は「創業から大学の力を活用してきたおかげで成長できた。『産学連携で世界の産業科学技術で世界の産業科学に貢献する』という経営理念を実現するためにも、大学の期待はいろいろある」と、どのような期待を込めて期待しているか、辻社長は「『すべにもつかうよ」

うな技術ではなく、5年から10年、あるいは20年、30年先に役に立つような基礎的な技術を探している。最近の産学連携は、目先の利益を追いすがらだが、もっと長期的な視点でつきあうべきだろう。深く追求し続けるからこそ技術が実用化される」と、具体的な例はどうか。辻社長は「かつて当社では京都大学の故藤田先生とセラミックで長く共同研究していたことが、ある。青色LEDの材料として有力視されていたからだ。たまた最終的には窒化ガリウム（GaN）が実用化されたが、2族と6族の化合物（GaNは3族と5族）で培った気相成長技術は、GaNでも役に立った」と、SiCの研究ではスーパークラスターによるトレンチMOS構造の加工などで一定の成果が見えてきた。エピソードもいくつかある。この面技術では貢献できる材料として有力視されている」と

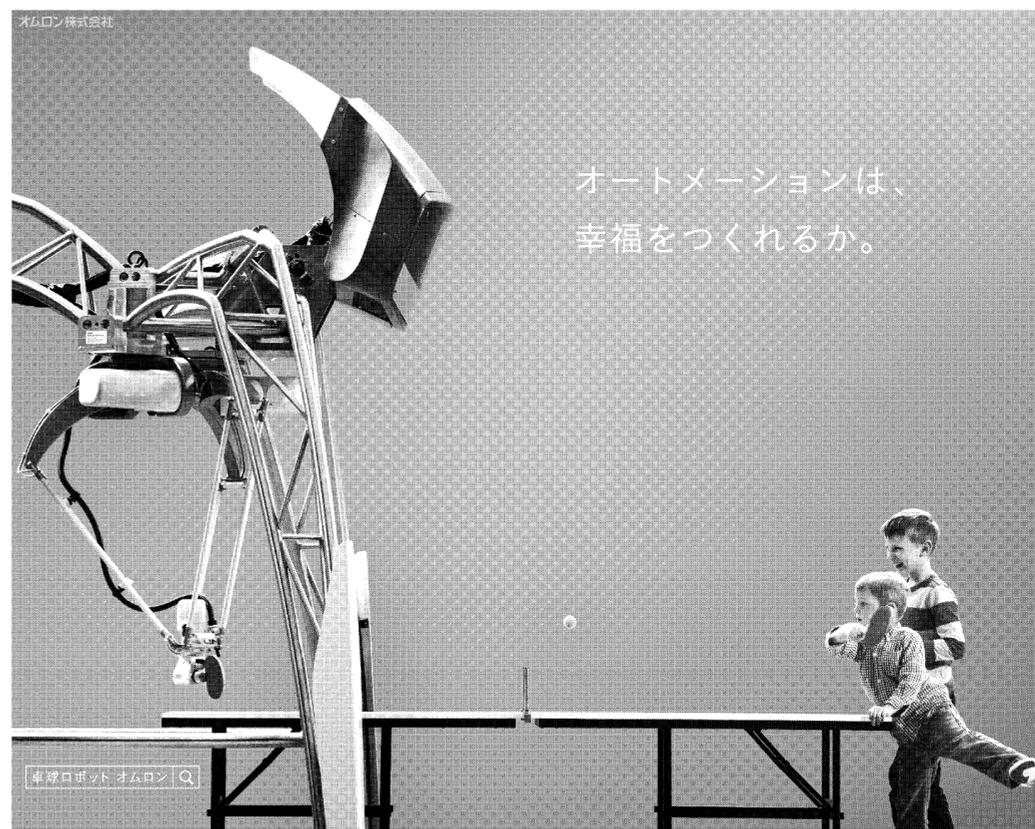
京大のコンソーシアムに50社・団体 広義のデザイン解決へ

京大が推進する産学共同による人材育成の取り組み。情報学や機械工学、建築や経営、心理学などが蓄積するさまざまな知のネットワークを活用し、街、大学教員、大学院生らもって2014年に発足。京都リサーチパーク（京都市下京区）にデザインインノベーション拠点を設置し、本格活動を始めている。各種デザインセミナーやオープンイノベーション、共同研究などで産学連携による相互学習を通じて、多様な専門性でコラボレーションを先導できる人材の育成が狙いだ。

コンソーシアムにはオムロンやソニー、ダイキン工業など大手企業、京都府・京都市など

島津の共同開発拠点 今夏から本格稼働

島津製作所は北米で、主力製品であるクマトグラフや質量分析計を使用する臨床分野や食品の安全、環境やエネルギー分野などの共同研究を進めてきた。産学共同研究・共同開発拠点「イノベーションセンター」も今年7月から本格稼働している。



オートメーションは、幸福をつくれるか。



オムロンがめざしているのは「便利」だけではありません。テクノロジーの力で、もっと笑顔をふやしたい。もっと夢を叶えたい。たとえば、どんな球を打っても一番打ちやすい場所に返してくれる卓球ロボット。誰でも長くラリーを楽しむことができる、センシング&コントロール技術のシンボルです。オートメーションの進歩は、今までできなかった事を可能にし、新しい幸福を生み出すと信じています。

人間は、もっとやれる。



コクがあつて すっきり辛口。 しまいやすく 捨てやすい。



お酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。飲酒は適量を。のんだあとはリサイクル。 www.takarashuzo.co.jp お客様相談室 TEL 075(241)5111 宝酒造株式会社